

1 教育目標

これからの義務教育が求められているのは、激しい変化とグローバル化の進展した社会の中で、自立して生きることができる総合的な力としての「人間力」の向上である。

その実現に向けて、練馬区教育委員会の教育目標ならびに生徒・保護者・地域社会の実態に基づき、次のとおり「校訓」及び「教育目標」を設定する。

◆校 訓 学ぶ・働く・協力する・鍛える・共に生きる

◆教育目標（目指す生徒像）

◇自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力を身に付ける生徒

◇勤労を尊び、社会に貢献しようとする態度を持つ生徒

◇互いの個性を認め合い、思いやりのある行動ができる生徒

◇健やかで、たくましい心と体づくりに努める生徒

◇自他の文化を尊重し、国際的な視野を持つ生徒

（1）自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力を身に付ける生徒

知識や技能は日常生活や社会の中で正しく活用されてこそ意味がある。授業において基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力や判断力、表現力、そして主体的に学ぼうとする意欲を高める授業を工夫することにより「学ぶ生徒」を育成する。

（2）勤労を尊び、社会に貢献しようとする態度を持つ生徒

学校における集団生活の中で、自らの役割と責任を自覚し、最後までやり遂げることをとおして、望ましい勤労観や職業観をはぐくみ、個々の可能性を広げる。学級や学年の取組をはじめ、学校行事や生徒会の諸活動をとおして、生徒が自ら考え、判断し行動する「働く生徒」を育成する。

（3）互いの個性を認め合い、思いやりのある行動ができる生徒

社会は一人一人が異なる個人で形成されており、マナーやルールを踏まえた言動によって集団の力が発揮できる。日々の授業や部活動等の教育活動をとおして、生徒の規範意識を高めるとともに、人権尊重の精神に基づき、認め合い節度ある行動ができる「協力する生徒」を育成する。

（4）健やかで、たくましい心と体づくりに努める生徒

心身の健康は生きる力の源であり、日常生活の基盤です。オリンピック・パラリンピックの開催を踏まえて、運動や部活動への積極的な参加を促したくましい体と強い心をはぐくむとともに、家庭との連携によって望ましい生活習慣や食習慣の確立を図り、「鍛える生徒」を育成する。

（5）自他の文化を尊重し、国際的な視野を持つ生徒

グローバル化、国際化した社会で生きるためには自国の伝統文化を正しく理解するとともに、外国の文化や言語について理解を深め積極的にコミュニケーションを図る能力や態度が求められる。様々な体験的教育活動をとおして郷土愛や国際感覚を磨き、「共に生きる生徒」を育成する。

2 目指す学校像

次のような学校像を掲げ、その実現に向けて「先見性・勇気・行動力」をもって、学校経営を推進する。

- ◇生徒一人一人が自らのよさを発揮し、意欲的、創造的に活動する学校
- ◇生涯学習の視点に立ち、生徒の関心・意欲を高め、生涯にわたって学び続けるために必要な知識や、学び方等を身に付けられる授業が充実している学校。
- ◇生徒指導上の課題等に迅速に対応し、教育活動の改善・充実に一致協力して取り組む、組織的な学校。
- ◇家庭や地域社会との相互理解や連携・協力体制を築き、学校の役割を積極的に果たして家庭や地域からの信託に応える、開かれた学校。

3 学校経営の基本方針

(1) 生徒一人一人の実態把握に基づき、生徒が個性や特性を発揮できる環境や指導の工夫改善を進める

- ①すべての生徒に対して、個々の状況把握に努め、成長に向けて支援する。
- ②生徒自身が自己の目標を設定し、その目標達成に向けて挑戦させる。
- ③生徒の社会性や豊かな人間性の育成につながる体験活動や奉仕活動を推進する。

(2) 生涯学習の視点から、その「基礎・基本」が身に付くような授業実践を積み重ねる

- ①生徒一人一人が関心を高め、意欲的に学びたくなる授業、個に応じた指導を工夫する。
- ②生徒が自ら課題を設定し、考え判断する能力の育成と、思考力を高める言語活動を充実させる。
- ③基礎的・基本的な内容を確実に定着させる授業と補充的な学習を充実させる。

(3) 家庭・地域社会等との相互理解や連携・協力により、地域に根ざした学校を作る

- ①学校の基本姿勢や教育活動を積極的に発信し、保護者や地域の理解を得る。
- ②保護者や地域からの声には謙虚に耳を傾け、誠実に対応する。
- ③地域の教育力の活用や地域活動への積極的な参加を促し、生徒の自立や社会性の育成を図る。

(4) 教職員一人一人が個性を発揮しながら切磋琢磨し、一致団結して課題解決に臨む組織力の高い職場づくりを進める

- ①生徒一人一人の学力を高めるための指導力向上に向けた授業研究、校内研究を充実させる。
- ②人権尊重の視点に立った生徒理解と指導、望ましい人間関係作りを推進する。
- ③生徒の自己実現に向けて、使命感を持って積極的に指導にあたる教職員の組織作りを推進する。
- ④教育計画を確実に実施する効率的で合理的な分掌組織とOJTを推進する。

4 中期的な目標と方策

(1) 生徒

① 確かな学力の定着

- 学力向上推進委員会を中心に、以下の取組を意図的、計画的に実施する。
 - ・基礎的、基本的な内容の確実な定着と、学習意欲の向上を目指した授業実践、朝授業（モジュール学習）の効果的な実施、補充学習の時間を全校体制で実施する。
 - ・各教科や総合的な学習の時間等において、読み解く力や自分の考えをまとめる力、分かりやす

く表現する力等を高めるため、問題（課題）解決型の授業を展開する。

- ・「学びの道しるべ」の活用や「生徒の学習力・家庭学習に関するアンケート」を活用し、適切な家庭学習のための課題の指示や助言を行う。
- ・小中一貫教育を推進し、9年間を見通した学習、生活、キャリア教育の指導計画の作成や実践を行う。

② 豊かな心の醸成

- ・生徒間および教師と生徒が互いの人格を尊重しながら信頼関係を築き、生徒一人一人が自己有用感をもてるよう、学年・学級経営計画に基づいた学級経営を充実させる。また、全校体制で学校生活におけるルールやマナーを遵守する指導を徹底する。
- ・道徳の時間を確実に確保し、内容の充実を図るとともに、土曜授業日には道徳授業地区公開講座や講演会、保護者会を開催し、全学級授業公開として家庭・地域との連携を深める。
- ・スクールカウンセラーやふれあい相談員、外部関係機関との連携をとおして、特別な支援を必要とする生徒や、学校不応を起こしている生徒についての理解と支援の充実を図る。
- ・生徒・教師の言葉や掲示物等の言語環境を整え、「言葉」を大切にす態度をはぐくむ。
- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づく指導の徹底を図るとともに、いじめ対策委員会による組織的な対応を推進する。
- ・仮設校舎への移転に伴い、生徒が集中して授業に取り組める清潔で快適な学習環境の整備に努めるとともに、ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境を整える。

③ 健康と体力の増進

- ・生徒の健康作りの推進に向けて、学校保健年間計画を作成し、学校保健委員会や栄養士を活用した食に関する指導を行うとともに、食物アレルギーへの対応・対策を徹底する。
- ・発達段階に応じて喫煙防止、薬物乱用防止教育等を適切に実施する。
- ・オリンピック教育推進校として、アスリートやスポーツトレーナー等を招聘した講演会・学習会を実施するとともに、学校全体で体力向上に関わる取組を推進する。
- ・部活動は全教員が顧問となり、外部指導員等を活用しながら指導の充実を図るとともに、部長を中心に生徒が主体的に活動する場となるよう指導する。特に今年度は校舎改築のため校庭が狭くなるので、外部施設を有効に活用し、生徒の活動の場を確保する。
- ・安全管理と事故防止を徹底し、自然災害や事故発生時の対応訓練を年間計画に基づいて確実に実施する。特に今年度は、校舎改築に伴い仮設校舎への移転があるため、改めて避難経路や避難場所の周知徹底を図るとともに、保護者・地域・関係機関との連携に基づく防災訓練を実施する。

④ キャリア教育の視点に立った進路指導

- ・キャリア教育の4領域8能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）を教科・領域を横断した年間指導計画に基づき全教育活動をとおして育成する。
- ・自己のあり方を見つめさせ、社会的・職業的自立に向けて必要な態度や能力、生き方について考えさせるため、外部講師を招聘した講演や授業などを積極的に実施する。特に3年生については卒業後の進路について明確な目的意識を持たせて進路選択ができるようガイダンス機能の充実を図る。

⑤ 豊かな国際感覚の醸成

- ・各教科、特別活動などとの関連の中で、日本の伝統・文化理解教育を推進し、我が国と郷土を愛する気持ち、誇りに思う気持ちを醸成する。
- ・2020年、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることを踏まえ、英語の授業ではA L Tの活用を推進し、特別活動等との関連を図りながら英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、放課後の補充学習の充実や検定試験等を奨励し、英語を学ぶ意欲や英語力の向上を図る。

(2) 教職員

① 能力開発と資質の向上

- ・教員一人一人が日常の教育活動や言動を見直し、人権感覚を磨くとともに、体罰や不適切な指導の根絶に向けてコミュニケーション能力や人間関係調整力の向上を図る。また、常に、公務員としての自覚をもってサービスの厳正を図り、教員相互で服務事故防止に努める。
- ・職場環境の整備に努め、机上や各種資料の整理整頓、鍵などの適正な管理に努める。
- ・授業力の向上に向けて、全教員が指導案を作成して授業研究を行い、講師等の指導・助言を受けて授業改善を図るとともに、相互授業参観をとおして助言し合い、指導力向上を図る。
- ・職層に応じた夢と志を明確にもち、積極的に研修等に参加して自己研鑽に努める。
- ・総合的な視野に立った予算編成および、計画的・効率的な予算執行に努め、常にコスト意識をもって職務を遂行する。

② 組織力の向上

- ・自らの心身の健康状態、互いの健康状態に留意し合い、本校の教育活動を充実させるために相互に補完、協力し合う。特に、今年度以降については校舎改築に伴う教育活動や学校行事の変更があるため、教員相互の報告・連絡・相談を徹底し、突発的な問題発生時には組織的な対応力と解決に向けた実行力が求められる。
- ・O J T推進委員会を中心とした校内O J Tの推進、充実を図る。

(3) 家庭・地域

① 保護者や地域から愛され、信頼される学校づくり

- ・年間を通じて学校公開や保護者会の機会を積極的に設定するとともに、開催内容の工夫改善に努め、保護者・地域の声を積極的に収集する。
- ・学校だよりや学年通信、学級通信を適宜発行して、学校情報の公開に努めるとともに、ホームページを充実させて、各学年、生徒会、部活動、P T A活動の情報提供に努める。特に校舎改築の進捗状況については、定期的に情報を発信する。
- ・学校評議員会を開催し、学校の自己評価や生徒・保護者アンケートなどの結果に対する学校関係者評価を実施し、その結果を教育活動や学校運営の改善、充実に結び付ける。
- ・生徒の自立や社会性の育成に向けた取組をP T A（保護者、教職員）同窓会、地域の人々や関係者の協力を得て開催する。特に今年度は、校舎改築に伴って変更を予定している教育活動や学校行事の実施に際して、保護者、地域の理解と協力を得られるよう、積極的に連携する。
- ・生徒会主体の地域貢献活動を拡大し、多くの生徒が主体的に参加する奉仕活動を検討するとともに、生徒・地域理解のため、教職員の地域行事や小学校行事への参加を推進する。

5 平成26年度の重点目標と具体的方策

経営目標	短期目標	具体的な方法	評価方法・目標値
生徒	<ul style="list-style-type: none"> わかる授業の実施 言語活動を取り入れた課題解決型の授業の実施 	本時の目標と指導事項の明確化、可視化 週 30%以上の言語活動を取り入れた課題解決型授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> 週案簿への記載 学校評価自己、生徒保護者アンケートで満足度 80%
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着と向上 	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上推進委員会を中心とした日常の補充教室の実施（英語週4日、数学週3日、国語週2日） 定期テスト前補充学習の充実（5日間の実施）。 長期休業日中の全校補充教室の実施（5日間） 	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査結果で70%以上の生徒が「概ね満足できる状況（B）」になる
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学びの道しるべのアドバイス内容の充実 週 50%以上の宿題など課題の提示 	
	<ul style="list-style-type: none"> 検定、コンクールの活用・参加 	<ul style="list-style-type: none"> 英語・漢字・数学検定等の奨励、検定試験前の対策教室の実施 部活動や教科担当からの積極的な働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 受験率等前年比 10%向上
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒のよさが発揮できる学級経営 	<ul style="list-style-type: none"> 学年経営案、学級経営案による意図的、計画的な学年・学級経営 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価生徒アンケート満足度 90%
	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修のテーマを「道徳の時間の充実」とし、年間3回以上の研究授業の実施。 外部講師による研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価自己評価 学校関係者評価
	<ul style="list-style-type: none"> 教育相活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ不登校の出現率ゼロを目指した教育相談活動の充実 1年生全員を対象としたSCによる面談の実施 「学校いじめ防止基本方針」に基づく指導の徹底といじめ対策委員会による組織的な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい月間調査等でのいじめ不登校の出現率0%
健康・体力	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の健康づくりと体力向上の推進 安全管理と事故防止の推進 	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック推進校としての取組の充実 部活動指導の充実 様々な状況を想定した避難訓練等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価生徒アンケート満足度 80%
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な学習活動によるキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画に沿った発達段階に応じた体験的な学習活動の充実と体験発表会の実施。 外部講師による生き方指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価生徒・保護者アンケート満足度 80%

教職員	資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善と授業力の向上 ・サービス事故の根絶 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員の指導案作成による授業研究の実施と講師による指導・助言の実施 ・相互授業参観をとおした指導力向上 ・体罰や不適切な指導の根絶に向けたサービス事故防止研修の年間3回実施。 ・職員会議時に注意喚起を促す資料の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価自己評価A評価 50%以上 ・サービス事故発生率0%
	組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎改築に伴う協力体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議の充実による校舎改築に伴う教育活動や学校行事の変更等への組織的な対応。事案決定の流れに沿った起案。 ・OJTの推進委員会を中心とした若手教員の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価自己評価A評価 50%以上
家庭・地域	信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日授業の内容の充実 ・PTA事業への積極的な協力 ・地域行事等への積極的な参加、協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日に実施する公開授業や各種行事の内容の工夫による保護者の参加率 10%増。 ・生徒会を中心とした地域行事への参加率 10%増。 ・PTA、地域行事等への全教員1人1回以上の参加、協力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価保護者アンケートAB評価 70%以上 ・学校評価自己評価A評価 50%以上